

私は毎朝地方紙を後ろの社会面から読み進めています。身近な話題や社会性の強い話題を先に読んで、寝ぼけた頭を覚ましつつ気持ちを集中させてから経済面・国際面・政治面を読むようにしています。小学生の頃はテレビ欄しか読まなかったもので、その癖が抜けていないのかも知れません（笑）。

学生の皆さんは新聞を読んでいますか。図書館では多くの新聞を読むことができます。全国五大紙はもちろんのこと、青森県の県紙や地域紙、業界紙もあります。では、なぜ新聞を読むことが推奨されるのでしょうか。なぜネットニュースでは駄目なのでしょうか。

理由の一つとして、新聞を読むことで視野が広がるのが挙げられます。ネットニュースの場合は、自分の好きなジャンルだけを選んで読むことができます。これに対し新聞は、前日の出来事などを多くの視点で解説した「パッケージ」として読むことができます。食事を例にとると、前者は「単品料理」で後者は「一汁三菜」といったところでしょうか。自分の好きなジャンルだけを読んでいくと知識が偏って視野が狭くなり、画一的な思考になってしまいます。新聞のパッケージ化された情報は、一つの出来事を社会・経済・国際・政治などの視点で解説しています。これらを読むことで、広い視野を得ることができ柔軟な思考を身に付けることができるでしょう。偏った栄養バランスは健康を損ない、バランスの良い食事は健康を維持できることに似ています。

時間が許せば、複数紙の読み比べもお勧めします。これは図書館でなければできないことです。一つの時事問題に対して、新聞各社の論評は違いますし、全国紙と地方紙の温度差も読み取れます。さらに、学内から図書館 HP にアクセスすると新聞のデータベースも利用できるのも、過去と現在の記事の比較も可能です。

最初はテレビ欄や社会面だけからでも構いません。空きコマに図書館で新聞を下から読んでみてはいかがですか。新聞紙は下から読んでも「シンブンシ」なのですから。

